


平成 31 年度（令和元年度）の学校教育目標と学校経営方針


（1）学校教育目標とめざす子ども像



平成 31（令和元）年度晴田小学校教育目標

「心晴れ晴れ たくましく 学び伸びゆく 晴田っ子」の育成

～地域に根ざし、世界につながれ、晴田っ子！～



【目指す子ども像】

○いのちあるものを大切に思いやりのある子ども

○健康や安全に気をつけ元気に活動する子ども

○進んで学び基礎基本や活用力を身につけた子ども

○世界につながりふるさと晴田で生き生きと活動する子ども

（2）学校経営方針

■「人権尊重」が基盤

本校では、人権・同和教育を基盤とした教育活動に継続して取り組み、「聴くは思いやり 言葉はおくりもの」は合い言葉として定着している。

今年度も「人権尊重」を基盤とした教育活動を工夫改善しながら推進し豊かな心を育てていく。

※学習活動のすべてにおいて（英語教育においても）、【あいあいタイム：自己を語る（Iメッセージ）場】を意図的に設定することで「コミュニケーション能力」の育成をめざすとともに、自己肯定感や互いを尊重する態度の育成など「人権尊重」の意識を職員が高めながら授業実践に取り組む。

■318人すべての児童に学びを保障する

晴田小スタンダードによる学びの環境のUD化、特別支援教育や教育相談の充実により、「安心・安全」な学校を目指すとともに、すべての児童に学びの保障をする。

■英語教育を学級経営に生かす

2020年度に本格実施となる外国語活動、外国語科の先行実施校としての経験を生かし、学級担任の力量アップを目指す。

晴田小の英語教育

- ・「聴くは思いやり・言葉はおくりもの」を基盤に、学級経営（仲間づくり）の充実
- ・「話す必然性」を大切に学習活動
- ・地域や身近な話題を題材にした学習単元の工夫
- ・校内研究の柱とし、職員の協働体制で実践し、発信する
- ・新学習指導要領完全実施（R2年度）に向けて、授業づくりの手法を他教科にいかす

■『TEAM HARUTA (HRT32)』で子どもを育て、課題解決を図る

①目標の共有化を（どんな子どもをみんな育てたいか）

目標を全職員、全児童・保護者、地域で共有し、深く連携することで具現化を図る。

取組への意味づけを明確にすることで、目的意識の共有を図る。

②教職員の協働意識に支えられた組織的な教育活動

すべての教育活動の推進と課題解決を組織的に行う。

③まず、職員がつながり、保護者、地域、関係機関との深いつながりのもとで、ふるさとのよさ、地域とのつながりを生かしたカリキュラムマネジメント 専門的な視点を生かした児童支援など

■『働き方改革』を意識した組織マネジメント

能率性と効率性の視点を持ち、すべての教職員が自己の専門性を生かして活躍できる組織づくりをめざす。

めざす教職員像

- 『TEAM HARUTA (HRT32)』を合い言葉に、常に組織で協働する教職員
- 人権感覚を身につけ、自他を大切にする教職員
- 自ら研鑽し指導力・職務能力向上に励む教職員
- Work Life Balance を意識した働き方ができている教職員

(3) 重点目標への取組み



- ① 校務分掌をプロジェクト化し、取組みのねらいを明確にしている。
⇒「学びづくり」「仲間づくり」「自分づくり」
- ② 各チーム部会の実施
キーワード「目標確認」「見通し」「チームで対応（協働）」「能率化・効率化」
- ③ 晴田スタンダード
全校的な共通理解・共通実践・評価（PDCAサイクル）

(4) 生かしたい晴田っ子のすがた（4月の全校集会より）

<p>【学びづくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学習に真剣に取り組む ・聴き名人 ・読書好き ・英語を積極的に使おうとする 	<p>【仲間づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あいさつ名人 ・手洗い・歯磨き名人 ・なかよし ・上級生が優しい ・外遊び名人 ・ボランティアに積極的 	<p>【自分づくり】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・無言掃除名人 ・スリッパ並べ名人
---	---	--



晴田小は、

3つの重点目標「学びづくり・仲間づくり・自分づくり」を人権教育・晴田スタンダード・協働体制で支え、英語教育を目標具現化の手立てと位置付け、家庭・地域とともに、晴田っ子のよさを生かし、のばすことで、「心晴れ晴れ たくましく 学び伸びゆく 晴田っ子」の育成に邁進する学校です。